平成22年度

事　業　報　告　書

調布市武者小路実篤記念館運営事業団

調布市武者小路実篤記念館運営事業団

＜平成22年度事業報告＞ 要旨

調布市武者小路実篤記念館は昭和60年10月に開館してから25年を迎え、この間、平成４年１月に当事業団が設立されてからは、調布市武者小路実篤記念館の事業活動全般を担い、武者小路実篤の業績を顕彰するとともに、現代において彼の作品や活動の魅力を改めて見直し広く普及する事業を展開し、各方面から高い評価をいただいてまいりました。

平成２２年度は、引き続き調布市教育委員会からの受託事業を中心として、開館から今日まで蓄積してきた展示・普及、収集・保存、調査・研究活動をとおして得られた成果と信頼をもとに事業を進めました。そして、作品・資料や情報の適切な管理と有効な活用をはかるとともに、記念館の機能を十分活用し、来館者の要望を取り入れながら、特色ある教育施設や地域の芸術・文化の拠点としての役割を担うべく多彩な事業を展開しました。

当事業団の運営にあたっては、事務事業の強化を計り、設置理念、事業内容の充実を達成するために、規定等の整備を行うとともに、必要な組織、効率的かつ円滑な運営面のあり方を、各方面の協力を得ながら、引き続き検討を進めてまいりました。

物品販売事業は、自主財源を増やすとともに、ミュージアムグッズを通して武者小路実篤の普及に努め、会計の透明化を図りました。

また、公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れ、財務情報の透明化を図り、事業内容や効率性をわかりやすく公表するように引き続き努め、運営状況をホームページ上で公開いたしました。

＜展示事業＞　「展示事業」は事業の中心であり、『白樺』創刊100年を記念して、春の特別展　「白樺派と漱石」ー『白樺』創刊100年を、開館25周年記念特別展「自己を生かす道」～『白樺』群像ー文学と美術の源～を開催し、各方面より好評を得ることが出来、多くの方々にご来館いただきました。また、6回の企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介してゆくために多角的なテーマを設け、あわせて実篤記念館の充実した収蔵品を紹介する展覧会を開催しました。

展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取り入れ、満足度の高い事業を提供するべく努めました。

＜普及事業＞　「普及事業」では、恒例となった「実篤に挑戦」（絵画制作会）をはじめ、多くの応募が寄せられた製本講座、読書会、美術講座、自然観察会、朗読会を開催し、内容の充実に努めました。幅広い世代に対し良質な事業を提供し、身近で、親しみのある教育、文化・芸術の場、市民の誇りとなるような事業展開を心がけました。また、朗読会を独自事業として開催し、事業の充実が望まれる講座については、参加者に応分の負担をしていただく運営方法で取り組みました。

さらに、地域連携事業では、桐朋学園大学音楽部などの協力を得て、コンサートを開催し、好評なものとなりました。

学校教育との連携事業では、市内小・中学校に実篤に関する資料・情報を提供するとともに、職場体験の受入れなどを引き続き進めました。また、実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報など様々な要素を活用して、小・中学生を対象とした「調べ学習」「創作」「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み、実篤や記念館に親しむ機会を増やし、子供たちが多様な体験を通して感性を磨き、自身で考える力、豊かな心を育む事業を進めました。

協力ボランティア活動は、５期生の養成講座を開講し、人員の充実を図りました。その活動は、普及事業への協力や広報資料の送付、他館より送付された図録資料の整理、実篤公園の草花調査、草木の育成・手入れ作業と活動の幅が広がり、記念館の事業展開に大きな役割を果たすまでとなり、市民、地域との連携を担う事業となりました。協力ボランティアによるガイドツアーを定期的に実施し、また、活動を充実させるために、関連美術館などへ行く研修を実施しました。

記念館の事業活動をより多くの方々に知っていただくために、ホームページを活用し、広報や事業記録としての役割を担う「館報」の内容をより充実させるとともに、各方面への積極的な広報活動を行い、各種取材への対応をしました。

さらに、都内の美術館・博物館等入場券＆割引券「ぐるっとパス2010」事業を市より受託し、この事業を通して実篤記念館事業を周知し、広報の充実に取り組みました。

＜資料の収集･保存事業＞　「資料収集」では、実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて美術作品、原稿、書簡類、図書など関係資料を収集しており、事業団では引き続き収集に関する各種情報を集め実篤記念館へ購入の提案をしました。

「資料の整理・保存」事業では、収集された作品・資料を速やかに整理し、収蔵品データベースへの入力作業を進め、良好な状態で保存し、後世に貴重な作品・資料を伝えるように努めました。さらに、収蔵作品･資料の適切な保存･管理を図るために、保存・記録作業のほか、作品修復、資料の複製制作を計画的に実施しました。

また、作品･資料の収蔵環境調査に際しては、作業への協力を行いました。

＜閲覧･情報公開事業＞　「閲覧」業務では、開架図書を中心とする閲覧業務、レファレンス業務のほか､展覧会や事業にあわせた図書紹介など､資料の活用促進を計り、利用者の窓口としてサービスの充実に努めました。

「情報公開」事業では、コンテンツや情報の充実に努め、収蔵品情報やより多くの方々に事業や実篤関連情報、事業記録など知っていただくために、収蔵品データベース、情報提供システムの運用を引き続き進めました。

＜調査･研究事業＞　「調査・研究」活動では、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施し、これまでの調査で得た情報を活用し、他の文学館、美術館や研究機関との協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとしての役割を担うべく、調査・研究活動を進めました。

22年度は、２５周年を記念し、これまでの収集や調査の成果として『武者小路実篤全集未収録書簡集』を刊行しました。

＜物品販売事業＞　ミュージアムグッズの物品販売事業は、自主財源を増やすとともに、特別会計をつくり、会計の透明化を図りました。

その収益は、自主事業（朗読会、講座など）の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくりにあて、普及事業の更らなる充実をサポートしました。

＜その他事業＞　友の会は、記念館と来館者を結ぶ組織であり、会員の増強と一層の充実に努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行するほか、友の会主催事業を実施し、記念館事業を側面から支援しました。当事業団は、友の会の事務局を担当しました。

また、自主財源を確保するために、記念館隣接道路に設置された案内掲示板の広告料収入を得たほか、写真貸出、大学生のインターンシップの受入など実施いたしました。

調布市武者小路実篤記念館運営事業団
【平成22年度　事業報告】

１．　入館状況　　詳細、**別紙1-1**　「使用状況」のとおり

２．　展示事業　　詳細、**別紙2-１**「展示事業」のとおり　　※

３．　普及事業　　※

（１）講座・講演会等　　詳細、**別紙2-２（１）（２）**のとおり

年間　24件42回 開催

・年代を問わず、様々な角度から武者小路実篤、実篤記念館や公園を知るきっかけづくりを中心とした講座、講演会等を開催。

・展覧会をより親しんでいただくために、展示解説を展覧会ごとに開催。

・地域連携事業として桐朋大学音楽学部等の協力によるコンサートを開催。

（２）学校教育との連携事業　　詳細、**別紙2-２（３）**のとおり

・夏休み講座、自由研究サポートの充実、親子参加事業の開催。

・芸術鑑賞授業、校外学習等への対応、解説シートの作成と配布。

・職場体験、職場訪問への協力。

・学校図書館へ資料の配付及び情報提供を行い、利用普及に努めた。

（３）生涯学習活動への対応

・団体見学者に対しての展示解説　　24回

・視察　　２回

・外部事業への講師　　２件

（４）協力ボランティア事業　　詳細、**別紙2-2（４）**のとおり

・第5期生の養成講座を開催し、人員の充実を図った。（登録者３５名）

・普及事業への協力、広報資料の発送作業、他館より送付の図録、年報などの資料整，実篤公園の草花の育成などの活動を実施。

・協力ボランティアによるガイドツアー、歴史散歩を開催。

・ボランティア活動を充実させるための、研修講座や会議を開催。

・事業団は活動の日程等の調整を中心に対応。

（５）印刷物の編集　　詳細、**別紙2-2（５）**のとおり

・特別展や武者小路実篤への理解を深めるために解説資料と、記念館事業

の周知をするための広報資料を企画、編集。

（６）広報活動

展示、普及事業の周知及び取材に対応

・特別展等ポスター、チラシの作成、配付　2回

・テーマ展、普及事業のミニポスター、チラシの作成、配付　40回

・ホームページの更新（年12回）　年間アクセス総数　1,763,795件

・調布市報　月2回

・ちょうふの教育　年2回

・報道機関等への情報提供　28件

・取材対応（新聞・雑誌・TVなど）　89件

（７）ぐるっとパス事業

・東京の美術館・博物館等共通入館券実行委員会「ぐるっとパス 2010」に参加し、展覧会や事業の広報、普及に努めた。

利用者 864 人、パス販売数 22 冊

（８）他機関への事業協力

・他機関の展覧会開催で情報提供、作品資料の貸出(返却)作業を実施（１件）

＊憲政記念館「政党政治の道―議会開幕から本格的政党内閣誕生へ」

（11月17日～12月10日）

4.　資料収集・保存事業

詳細、**別紙2-3**のとおり

（１）資料収集　計1.089点（寄贈919点/購入169点/寄託1点）

所蔵品合計49,435点（平成23年3月31日現在）

（２）資料整理・保存

・収蔵された資料を整理し、良好な状態で保存するための作業を行った。

・資料状態の把握、保存作業

収蔵庫内の収蔵品の状態を把握するために、定期的に点検を行い、状態が良くないもの、予防が必要な作品・資料の保存作業に取り組んだ。

・収蔵品や関連資料の記録撮影、デジタル化に取り組んだ。

・収蔵環境の調査に協力した。（22年９月実施）

・環境調査の結果を受け、展示ケース内への虫の防除対策を行った。

・展示室内で紫外線をカットするため、外光が入らないように遮光作業を入口等に実施した。

（３）映　像　1件　※

（４）修復･複製　修復：3点／複製：2件（27点）

（５）収蔵品データベースの充実

収蔵する作品・資料、実篤に関する情報の入力作業を進め、収蔵品データの充実を図るとともに、展覧会、レファレンス業務、収蔵品管理等に活用した。

未整理収蔵資料のデータ化、収蔵品情報の充実に努め、22年度は、特に以前管理に使っていた図書カードとデータとの照合作業及び、書簡の翻刻データの追加入力を集中的に実施した。

・収蔵品データベース登録数（22年度末現在）　34,439件

・収蔵品データベース　総リクエスト数　1,851,462件

（６）貸　出　21件

（内訳）作品・資料：１件１点　/　写真：20件36点

5.　閲覧・情報公開事業

（１）閲覧　詳細、**別紙1-3**のとおり　※

閲覧室の開架図書を中心とする閲覧及びレファレンス、資料照会

一般閲覧　開室日数：262日　/　利用者数：5,602名

特別閲覧　1件

資料照会（レファレンス）　2,214件

（カウンター、電話、メールを含む）

＊22年度より、展示室と閲覧室の休室が重なる日には、閲覧室を開室し、サービスの向上に努めた。

（２）情報提供システムの運用

情報提供システム（収蔵品データベース、来館者利用情報提供システム、映像視聴 システム、ホームページの総称）は、各種情報及びコンテンツの充実と利用促進を計った。

6.　調査・研究事業　※

（１）特別展関係

開催にともない、資料所蔵先や関係者へ、資料及び聞き取り調査を実施した。また、その成果は、展覧会及びパンフレットへの発表をはじめ、情報の記録作業を行った。

春の特別展「白樺派と漱石」ー『白樺』創刊100年では、東北大学付属図書館での漱石文庫の調査、木下利玄日記の調査･翻刻（神奈川近代文学館寄

託）、夏目漱石資料の所在確認調査を実施した。

開館25周年記念特別展　「自己を生かす道」～『白樺』群像ー文学と美術の源では、木村荘八資料（小杉放菴記念日光美術館所蔵）のうち日記及び挿絵を中心に所蔵調査を実施した。

（２）資料調査

実篤及び白樺同人関係資料の調査として個人所蔵の志賀直哉宛て書簡及び河野家所蔵の作品、資料の整理及び調査を引き続き実施。

『白樺』創刊100年にともなう、関連資料の所在調査、及び関連資料の調査を行った。

（３）武者小路実篤研究

開館 25 周年記念事業として、『武者小路実篤全集』未収録の実篤書簡を調査・整理し、その成果を冊子にまとめ、刊行した。

ひきつづき、武者小路実篤の書簡及び宛書簡の翻刻、著作データ及び主宰雑誌の目次データの整備を進めた。

７．物品販売事業

ミュージアムグッズの物品販売事業を積極的に展開し、自主財源を増やすとともに、特別会計をつくり会計の透明化を図った。

これらの収益は、自主事業（朗読会、講座など）の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくりにあて、普及事業をサポートした。

新商品として、2011年度版限定チョコレート、地元企業•榮太楼とのコラボ企画として「実篤　榮太楼飴（梅ぼ志飴）」を作成した。

８．その他事業

（１）友の会活動　※

・友の会ニュースの発行　年 7回

・友の会交流会「観梅の集い」

日時：平成23年2月20日（日曜日）　13：00～ 16：00

内容：第１部　観梅の調べコンサート

箏：山本明由子、高橋理香／尺 八：門傳良男

チェロ：染谷春菜（桐朋学園大学音楽部3年）

バイオリン：岩﨑彩乃（桐朋学園大学音楽部3年）

第２部　友の会会員交流会

＊講演　「白樺派多士斉々　柳宗悦　の「美愛眞」」
講師：中谷治夫氏（文芸評論家）
＊友の会　会員懇談
会場：実篤記念館及びハーモニープラザ
参加者：コンサート参加者83名/交流会　24名
・当年度会員数　　計86人（一般：80人　賛助：6人）
・事業団は事務局を担当
（２）学芸員実習ほか
インターンシップ：8月５日～15日（10日間）　　１名
（３）写真貸出・特別撮影
・出版、展覧会等への写真貸出、資料撮影への対応を行う。
（内訳）写真貸出：20件36点／特別撮影：2件6点（含有料）
（４）その他
・「入場者　50万人セレモニー」の実施
平成 23 年３月５日（土）
市長、教育長、事業団理事長より記念品贈呈、記念写真撮影を行った。
・案内掲示板の広告収入を得て、自主財源を確保した。

８．施設関係

（１）窓口業務、休憩施設の運営
・実篤記念館の受付窓口業務
・休憩コーナー（給茶設備）の管理運営
（２）実篤記念館施設管理への協力
・実篤記念館施設の日常管理への協力
（３）実篤公園施設の活用
・実篤公園の日常管理への協力
（４）旧実篤邸の保存　　詳細、**別紙1-2**のとおり
•旧実篤邸保存　邸内の作品・資料の適切な保存を図った。
•旧実篤邸公開、管理への協力

９．公金収納業務

・入館料、市頒布品の販売及び収納業務を市から受託し、実施した。

10.　事務事業（事務局）

（１）規約、規程等の制定及び改正

・給与規程の一部改正（平成22年4月1日改正、22年4月1日適用）

・給与規程の一部改正（平成22年7月1日改正、22年7月1日適用）

・給与規程の一部改正（平成22年12月24日改正、23年1月1日適用）

（２）会計事務

・公益法人会計に準拠した会計システムを実施。

・消費税、法人税の税務申告作業を実施。

・会計処理　　957件（うち一般会計：630件、特別会計：327件）

（３）理事会、監事会

・理事、監事　　「役員名簿」　**別紙3**のとおり

・理事会　　第１回理事会　平成22年5月20日　開催

　　第２回理事会　平成23年3月30日　開催

・監事会　　第１回監事会　平成22年5月14日　開催

（４）運営状況の情報公開

・運営状況をホームページ上で、事業計画・予算、事業報告・決算の情報を公開。

（５）職員研修

・汐留ミュージアム　学芸員照明研究会第10回

　　「LEDを中心とした次世代照明」　　平成22年８月23日　2名

・救命救急処置（AED操作）研修　　平成22年12月15日　10名

・公益財団法人虫害研究所　『文化財虫菌害防除作業に関する講習会』

　　平成22年3月9～10日　　1名

＜凡例＞　　事業項目にある「※」印は、普及促進事業。

別紙 1

平成22年度 調布市武者小路実篤記念館 使用状況

平成23年3月31日 現在

1 実篤記念館（実篤公園利用者を含む）

下段の数字は前年度

月	大人(人)	内 入館	子供(人)	内 入館	計 (人)	内 入館	累計(人)	内 入館	開館 (日)	備 考
4 月	2,365	720	640	44	3,005	764	3,005	764	26	春季展「版画展」
	3,129	1,023	938	250	4,067	1,273	4,067	1,273	26	3月6日～4月18日
5 月	3,429	1,305	735	61	4,164	1,366	7,169	2,130	26	春の特別展
	2,856	1,163	502	50	3,358	1,213	7,425	2,486	27	「白樺派と漱石」
6 月	2,175	754	631	34	2,806	788	9,975	2,918	26	4月24日～5月30日
	1,947	709	529	27	2,476	736	9,901	3,222	25	企画展
小 計	7,969	2,779	2,006	139	9,975	2,918	—	—	78	「新しき村の芸術」
	7,932	2,895	1,969	327	9,901	3,222	—	—	78	6月12日～7月11日
7 月	1,692	737	300	71	1,992	808	11,967	3,726	27	夏休み企画展
	1,361	403	343	91	1,704	494	11,605	3,716	17	「もっと知りたい武者小路実篤」
8 月	1,255	640	341	184	1,596	824	13,563	4,550	26	7月17日～8月29日
	1,525	698	567	310	2,092	1,008	13,697	4,724	26	秋季展
9 月	1,704	771	218	36	1,922	807	15,485	5,357	26	「龍となれ雲自づと来たる」
	2,177	853	294	44	2,471	897	16,168	5,621	26	9月4日～10月17日
小 計	4,651	2,148	859	291	5,510	2,439	—	—	79	
	5,063	1,954	1,204	445	6,267	2,399	—	—	69	
10月	2,166	748	550	131	2,716	879	18,201	6,236	27	開館25周年記念特別展
	2,126	717	474	49	2,600	766	18,768	6,387	27	「自己を生かす道」
11月	3,689	1,827	571	42	4,260	1,869	22,461	8,105	25	10月29日～12月5日
	2,774	1,035	469	26	3,243	1,061	22,011	7,448	25	
12月	1,782	566	445	17	2,227	583	24,688	8,688	24	企画展
	1,414	344	319	14	1,733	358	23,744	7,806	24	「書簡展」
小 計	7,637	3,141	1,566	190	9,203	3,331	—	—	76	12月18日～1月23日
	6,314	2,096	1,262	89	7,576	2,185	—	—	76	
1月	1,179	448	399	35	1,578	483	26,266	9,171	24	企画展
	1,557	504	361	23	1,918	527	25,662	8,333	24	「実篤グッズ展」
2月	1,655	780	385	28	2,040	808	28,306	9,979	24	1月29日～2月27日
	1,828	735	351	47	2,179	782	27,841	9,115	24	
3月	2,552	555	423	41	2,975	596	31,281	10,575	27	春季展
	1,798	640	507	45	2,305	685	30,146	9,800	24	「美術遍歴」
小 計	5,386	1,783	1,207	104	6,593	1,887	—	—	75	3月5日～4月17日
	5,183	1,879	1,219	115	6,402	1,994	—	—	72	
合 計	25,643	9,851	5,638	724	31,281	10,575	—	—	308	
	24,492	8,824	5,654	976	30,146	9,800	—	—	295	
月平均	2,137	821	470	60	2,607	881	—	—	26	
	2,041	735	471	81	2,512	817	—	—	25	
日平均	83	32	18	2	102	34	—	—	—	
	83	30	19	3	102	33	—	—	—	

○ ぐるっとパス（東京の美術館・博物館等共通入場券）使用者数：864人

○ 入場者50万人達成　平成23年3月5日（土）

2 旧実篤邸公開

項目	公開日数(日)	利用者数(人)	備　　考
4月～6月	28	2,056	
7月～9月	27	992	
10月～12月	27	1,772	
1月～3月	24	1,061	
計	**106**	**5,881**	
前年度	109	5,644	

3 閲覧室の状況

項　　目	開室日数(日)	利用者数(人)			レファレンス受付件数(件)			備　考
		室利用者	(情報提供システム)	(PC検索システム)	カウンター受付	電話・Eメール等受付	小　計	
4月～6月	67	1,701	805	343	593	31	624	
7月～9月	64	1,195	504	207	458	25	483	
10月～12月	67	1,701	640	248	628	26	654	
1月～3月	64	1005	410	138	418	35	453	
計	**262**	**5,602**	**2,359**	**936**	**2,097**	**117**	**2,214**	
前年度	242	5,311	2,766	1,000	2,105	110	2,215	

別紙 2

平成22年度 調布市武者小路実篤記念館事業報告

平成23年3月31日 現在

1 展示事業

展 示 名 称	会期	会期中利用者数(人)
春季展 「版画展」ー愛蔵品と装幀	3月6日～4月18日 (38日間)	大人488人，子ども30人　計518人(4月分のみ)
春の特別展 「白樺派と漱石」ー『白樺』創刊100年	4月24日～5月30日 (38日間)	大人1，509人，子ども74人　計1，583人
企画展 「新しき村の芸術～美術・出版・演劇」	6月12日～7月11日 (26日間)	大人832人，子ども40人　計872人
夏休み企画展 「もっと知りたい武者小路実篤」	7月17日～8月29日 (38日間)	大人1，006人，子ども239人　計1，245人
秋季展 「龍となれ雲自づと来たる」～実篤の書画～	9月4日～10月17日 (38日間)	大人977人，子ども45人　計1，022人
開館25周年記念特別展 「自己を生かす道」 ～『白樺』群像ー文学と美術の源	10月29日～12月5日 (33日間)	大人2，143人，子ども49人　計2，192人
企画展 「書簡展ー全集未収録書簡を中心に」	12月18日～1月23日 (27日間)	大人546人，子ども37人　計583人
企画展 「実篤グッズ展ー生活の中の美」	1月29日～2月27日 (27日)	大人830人，子ども33人　計863人
春季展 「美術遍歴　～実篤コレクション」	3月5日～4月17日 (38日)	大人496人，子ども37人　計533人(3月分のみ)

2 普及事業

(1)講座・講演会等活動

事 業 名	講師	開催日	場所	参加者数(人)
自然観察会「初夏の実篤公園」	富田　広	5月8日	実篤公園と周辺緑地	17
展示解説　春の特別展「白樺派と漱石」ー『白樺』創刊100年	事業団職員	5月9日	実篤記念館	22
読書講座「原田宗典　武者小路実篤を読む」(全3回)	原田宗典	5月15日・22日・29日	東部公民館・旧実篤邸	延23
「第5回協力ボランティア養成講座」(全6回)	石川清明，小林祐子,小出仁志他	5月27日・6月24日・7月29日・8月26日・9月25日・11月25日	実篤記念館	延46
「作ってみよう！　梅ジャム」(2回･同内容)	事業団職員	6月12日・13日	実篤記念館	41
展示解説「新しき村の芸術～美術・出版・演劇」	事業団職員	7月3日	実篤記念館	18
「もっと知りたい！－自由研究サポート」(6回)	事業団職員	7月22日・29日・8月5日・12日・19日・26日	実篤記念館	69
「作ってみよう！　私だけの本」(全3回)	田尾明敏，岡野暢夫	7月24日・25日・8月6日	実篤記念館・東部公民館	延43
「実篤に挑戦！　～筆と墨で絵をかこう～」(全2回)	事業団職員	8月13日・14日	実篤記念館	延93
特別篇「実篤に挑戦！　～うちわに筆と墨で絵をかこう～」(2回･同内容)	菱沼陽士女	8月15日	実篤記念館	34
展示解説「もっと知りたい　武者小路実篤」	事業団職員	8月21日	実篤記念館	7

読書講座「『ある青年の夢』を読む」	瀧田　浩	9月5日	東部公民館	8
つつじケ丘歴史散歩	山岡　博	9月11日	つつじケ丘駅周辺	14
展示解説「龍となれ雲自づと来たる」	事業団職員	9月23日	実篤記念館	9
朗読会「実篤を聴く　Part10～『白樺』創刊100年～」	演出／川和孝　出演／河崎早春，松尾智昭,他	10月1日	文化会館たづくり	84
美術講座「白樺とゴッホ」	事業団職員	11月4日	実篤記念館	19
展示解説「自己を生かす道『白樺』群像ー文学と美術の源」	事業団職員	11月13日	実篤記念館	12
秋の自然観察会	富田　広	11月20日	実篤公園とその周辺	18
特別展記念講演会「『自己を生かす道』を歩んだ画家たち ー岸田劉生を中心に」	田中　淳	11月28日	東部公民館	28
展示解説「書簡展ー全集未収録書簡を中心に」	事業団職員	1月23日	実篤記念館	14
「製本講座（初級編）」（全2回）	岡野暢夫	1月20日・2月3日	東部公民館	延28
展示解説「実篤グッズ展ー生活の中の美」	事業団職員	2月26日	実篤記念館	19

※台風により中止／こども工作講座「かざぐるまを作ろう」（10月30日）

(2)地域連携事業

事　業　名	開催日	会場	連携・協力団体	参加者数（人）
「文学コンサートIn実篤記念館」	4月10日	実篤記念館	桐朋学園大学音楽部	40
友の会交流会「観梅の集い」 (第1部・観梅の調べコンサート，第2部・友の会会員交流会)	2月20日	実篤記念館・ハーモニープラザ	桐朋学園大学 音楽学部，邦楽アンサンブル花筏	第1部・83 第2部・24

(3) 学校教育との連携事業

事　業　名	開催日	会場	連携・協力団体	参加者数（人）
校外学習	5月12日	実篤記念館	都立神代高等学校	12
校外学習	6月9日	実篤公園	市立滝坂小学校2年生	56
校外学習	6月11日他5日間	実篤公園	市立若葉小学校5年生	140
職場体験	7月6日～9日	実篤記念館	市立調布中学校2年生	3
校外学習	8月3日	実篤記念館	市立第五中学校美術部	5
職場体験	9月14日～17日	実篤記念館	市立第四中学校2年生	4
校外学習	10月13～14日	実篤記念館	市立若葉小学校4年生	107
校外学習	12月5日	実篤公園	市立滝坂小学校2年生	53
第四中学校地域教育懇談会（講演会）	12月22日	東部公民館・実篤記念館	若葉小学校・第四中学校	60
記念館見学	2月4日	実篤記念館	桐朋女子高等学校3年生	9

※　調べ学習（学級閉鎖のため中止）／1月28日・市立第七中学校1学年（調べ学習）　→　質問事項に文書で回答

(4)協力ボランティア事業

1）協力ボランティア活動

主な活動内容	日　数（日）	参加者数（人）
収蔵資料・寄贈資料整理，ポスター・チラシ等発送，開催事業補助作業，ボランティア研修会，ボランティア会議，植物ボランティア，ガイド関連作業等	231	581

2）ボランティアガイドツアー

回　数（回）	参加者数（人）
8	76

※8月，12月から2月は休止

(5)印刷物の編集

資　料　名	種別	対象	発行	部数	備　　考
特別展「白樺派と漱石」パンフレット	解説書	一般	4月	1,500	有料配布
夏休み行事案内パンフレット	資料	児童・生徒	7月	20,000	無料配布
特別展「自己を生かす道」パンフレット	解説書	一般	10月	1,500	有料配布
「武者小路実篤 全集未収録書簡集」	書簡集	一般	3月	1,000	無料配布
記念館館報「美愛眞」(全2回)	第19・20号	一般	9月・3月	各3,000	無料配布
解説シート「もっと知りたい」	NO34－36	一般・子ども	3月	各5, 000	無料配布
展示案内(平成23年度)	パンフレット	一般	3月	20,000	無料配布

3 資料収集・保存事業

(1)資料収集　　平成22年3月末現在の収蔵品点数49,435点

資　料　区　分	寄贈(点)	購入(点)	寄託(点)	合計(点)
図書・雑誌	578	169	0	747
美術品	1	0	1	2
関連作品・資料	54	0	0	54
書簡	1	0	0	1
図録, 紀要,年報等(年間)	285	0	0	285
合計(点)	919	169	1	1089

(2)資料整理・保存

作　業　種　別	作業内容	件数(件)
収蔵資料整理(収集整理以外)	書簡	188
	資料写真	2,012
	他館発行の図録、年報整理	285
	収蔵品、関連資料の写真撮影	156
	資料画像のデジタル化	300
保存作業	図書　中性紙保存箱作成	100
	美術品額　中性紙保存箱作成	15
	美術品額　紫外線カットアクリル入替	5

(3)記録映像

資　料　名	件数(件)
「実篤の文学作品に親しむ2　実篤の詩の世界」(18分33秒)	1

＊映像視聴システム、情報提供システム、ホームページで公開

(4)資料修復･複製作成

作　業　種　別	作業内容	件数(点)
修復	武者小路実篤作品:「薔薇図」(墨画淡彩画) 武者小路実篤作品:「人間萬歳」(書) 実篤愛蔵品　池大雅:「曲江行楽図巻」(軸頭箇所)	3
複製作成	有島武郎から実篤宛て書簡 大正5年1月26日	1＜両面＞
	写真複写	1(26)

(5)収蔵品データベース　　平成22年3月末現在データベース登録件数34,439件

作　業　種　別	件数(件)
図書データの追加、更新作業	626
文字データと画像データのリンク作業	300
美術品、原稿、書簡、写真資料データ作成・整備作業	1,516
画像データ整備作業	300
収蔵品データとカードの照合作業(図書･雑誌)	33,303

(6)資料貸出・特別撮影

資　料　区　分	件数(点)
貸出　／　作品・資料	1(1)
貸出　／　写真資料	20(36)
返却　／　作品・資料	1(　1)
特別撮影　／　作品・資料	2(　6)

別紙3

調布市武者小路実篤記念館運営事業団役員名簿

任 期　　平成22年4月1日から平成24年3月 31日

[理事]　　(平成23年3月31日現在)

職名	氏 名	備考
理 事 長	ふくだ　ひろし 福　田　宏	民間
副理事長	こやま　としお 小　山　俊　夫	調布市教育委員会・教育部 教 育 部 長
理 事	むしゃこうじ　ともゆき 武 者 小 路　知 行	民間
理 事	つかごし　ひろみち 塚　越　博　道	調布市 生活文化スポーツ部長
理 事	おのざき　みつる 小　野　崎　満	調布市教育委員会・教育部 郷土博物館館長
理 事	やまの　きみえ 山　野　希実江	調布市教育委員会・教育部 武者小路実篤記念館館長

[監事]

職名	氏 名	備考
監 事	あらい　しちご 新　井　七　吾	民間
監 事	ひじかた　かずみ 土　方　和　巳	調布市教育委員会・教育部 副参事兼社会教育課長